記者発表資料

令和７年８月１日
国土交通省東北地方整備局
山形河川国道事務所

花笠まつり期間中にパレードコースの融雪設備を稼働します
～　観客の熱中症対策として試行的に実施　～

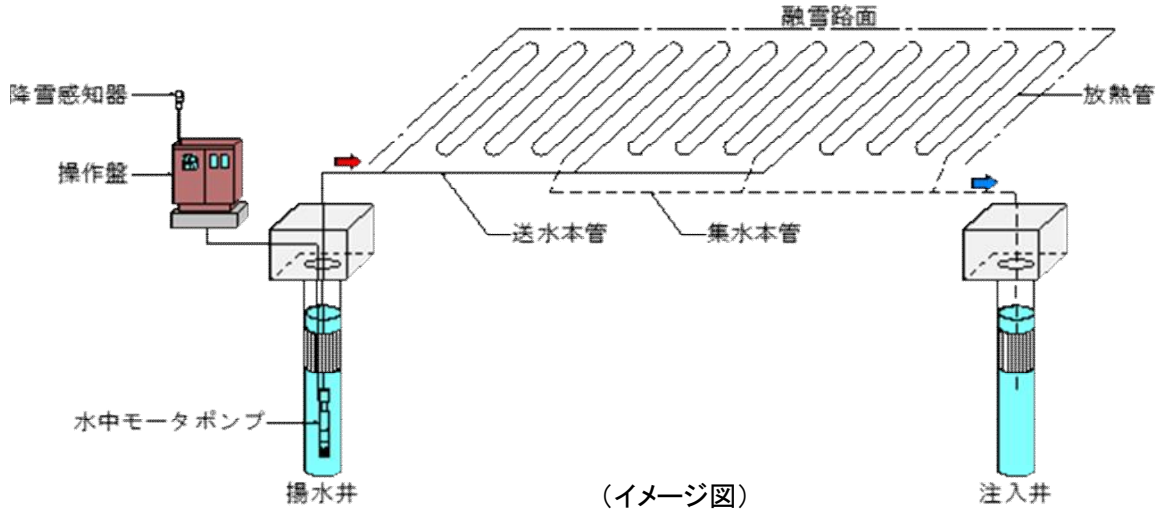
花笠まつり期間中の熱中症対策の一環として、国道112号の歩道に設置されている融雪設備を稼働させ、足元からの暑さ緩和を図ります。

夏場に高温となる歩道の下を温度の低い地下水を通すことで、路面温度を下げる効果が期待されます。

○融雪設備

融雪設備は、冬期間の積雪が歩行者の妨げにならない様にするために設けている設備であり、歩道上の降雪を溶かす機能を有しています。歩道の下に敷設した配管内にポンプアップした地下水を通すことで路面に熱を伝えて雪を溶かす仕組みです。

地下水は年間を通して温度変化が小さいことから、この設備を夏場に稼働させた場合、路面の下を循環する低温の地下水が直射日光で熱せられ高温となった路面から熱を奪うため、路面温度が低下し路面からの輻射熱を低減させる効果が期待されます。



（イメージ図）

■実施期間：　令和７年８月５日（火）～８月７日（木）
（稼働時間（予定）１５：００～１９：００）

■実施場所：　国道１１２号（山形市七日町地内（別添地図参照））

＜ 発表記者会：山形県政記者クラブ ＞

問い合わせ先	
国土交通省	国土交通省　山形河川国道事務所 住　　所：山形市成沢四丁目３番５５号 TEL（課直通）：０２３－６８８－８９４８ 防災課　保全対策官　今野（こんの）　孝親（たかちか）

融雪設備稼働箇所図

（別添）

